



平成30年5月21日

各 位

会 社 名 日本紙パルプ商事株式会社  
代表者名 代表取締役社長 渡辺 昭彦  
(コード：8032 東証第1部)  
問合せ先 上席執行役員 管理本部本部長  
武井 康志  
(TEL. 03-3534-8522)

**(訂正・数値データ訂正)「平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について**

当社は、平成30年2月7日に開示いたしました表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日付で公表いたしました「過年度の決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_\_\_線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本紙パルプ商事株式会社  
 コード番号 8032 URL <https://www.kamipa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 昭彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部本部長 (氏名) 武井 康志 (TEL)03(3534)8522  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	388,216	9.7	7,059	16.0	7,105	9.1	4,655	△2.2
29年3月期第3四半期	353,890	△7.4	6,086	34.4	6,509	41.6	4,760	112.0

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 10,329百万円(116.9%) 29年3月期第3四半期 4,763百万円(187.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	319.36	317.57
29年3月期第3四半期	348.55	346.27

※平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	345,908	93,348	24.8
29年3月期	287,863	80,784	26.4

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 85,909百万円 29年3月期 76,093百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
30年3月期	—	5.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	50.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は5円00銭となり、1株当たり年間配当金は10円00銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	530,000	8.0	9,500	14.8	9,000	9.9	5,200	△2.9	355.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社(社名) Ball & Doggett Group Pty Ltd、  
PagePack (NZ) Limited 、除外 1社(社名)

※詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	15,021,551株	29年3月期	15,021,551株
30年3月期3Q	928,772株	29年3月期	1,410,620株
30年3月期3Q	14,576,484株	29年3月期3Q	13,656,173株

※平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成29年6月28日開催の第155回定時株主総会において、単元株式数の変更、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、単元株式数を1,000株から100株に変更し、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金

第2四半期末 5円00銭(注1)

期 末 5円00銭(注2)

2. 平成30年3月期の通期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 35円57銭

(注1) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払いを行っております。

(注2) 株式併合考慮前に換算した配当額であります。

(注3) 平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は10円00銭となります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用環境の改善によって個人消費が緩やかに増加、また輸出の改善や設備投資の増加などにより、全体として回復基調が継続しています。世界経済におきましては、雇用の改善による個人消費に支えられている米国や、輸出がけん引する欧州での経済が堅調に推移するとともに、中国では個人消費の寄与による経済成長が継続、また、アジア諸国においても先進国向けの輸出が好調なことから、全体的に安定した経済成長が続いています。

紙パルプ業界におきましては、紙は電子媒体へのシフトなどの要因から需要の減少が続いたものの、板紙は、加工食品・飲料用など生活必需品や、伸長著しいネット通販向けの梱包用段ボール原紙の出荷が堅調であり、当第3四半期連結累計期間における紙・板紙の内需はほぼ前年並みとなりました。

このような状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高388,216百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益7,059百万円（同16.0%増）、経常利益7,105百万円（同9.1%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、当期においては固定資産売却益の増加、負ののれん発生益の計上等があったものの、投資有価証券売却益が減少したことにより、前年同期比2.2%減の4,655百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績をセグメント別にみると次のとおりです。

## 「国内卸売」

紙・板紙の出荷数量はわずかに減少したものの、売上高は価格修正もあり前年同期比0.9%増の220,300百万円となりました。経常利益は、機能材の販売が好調であったことなどから、3.0%増の3,949百万円となりました。

## 「海外卸売」

第2四半期連結会計期間に連結子会社化したBall & Doggett Group Pty Ltdの業績が当第3四半期連結会計期間より反映されていること、及び本邦からの輸出の増加や円安による為替換算の影響等により、売上高は前年同期比19.4%増の116,820百万円となりました。一方、経常利益はBall & Doggett Group Pty Ltdの株式取得関連費用を計上したことなどから1.5%増の883百万円となりました。

## 「製紙及び加工」

売上高は再生家庭紙事業及び海外段ボール加工事業の販売数量増加等により、前年同期比9.4%増の17,633百万円となりました。一方、経常利益は板紙製造事業における原料古紙価格の上昇等により5.9%減の2,111百万円となりました。

## 「資源及び環境」

古紙価格の上昇等により、第1四半期連結会計期間に連結子会社化した福田三商株式会社をはじめとした古紙事業の業績が好調に推移しました。また、平成28年7月から営業運転を開始した岩手県におけるバイオマス発電事業の業績が期初より反映されていることにより、売上高は前年同期比61.2%増の31,345百万円、経常利益は262.6%増の1,780百万円となりました。

## 「不動産賃貸」

テナントビルの高稼働が継続していますが、一部賃貸物件の売却もあり売上高は前年同期比0.7%減の2,118百万円となりました。一方、経常利益は減価償却費の減少及び管理費用の削減により16.9%増の463百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、福田三商株式会社及びBall & Doggett Group Pty Ltdを連結子会社化したことに伴う売上債権、棚卸資産及び有形固定資産の増加等により前連結会計年度末に比べて58,045百万円増加し、345,908百万円となりました。

総負債も同様の理由により前連結会計年度末に比べて45,482百万円増加し、252,560百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び有価証券評価差額金の計上等により前連結会計年度末に比べて12,564百万円増加し、93,348百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日に公表いたしました連結業績予想数値の修正はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,157	8,569
受取手形及び売掛金	122,764	146,796
たな卸資産	26,080	34,585
その他	6,103	6,724
貸倒引当金	<u>△1,694</u>	<u>△2,147</u>
流動資産合計	<u>159,410</u>	<u>194,526</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,238	33,911
土地	25,984	32,080
その他(純額)	29,116	33,993
有形固定資産合計	88,339	99,984
無形固定資産		
のれん	284	4,077
その他	1,889	1,918
無形固定資産合計	2,173	5,995
投資その他の資産		
投資有価証券	32,468	39,241
その他	8,332	9,060
貸倒引当金	△2,928	△2,958
投資その他の資産合計	<u>37,871</u>	<u>45,343</u>
固定資産合計	<u>128,382</u>	<u>151,322</u>
繰延資産	71	60
資産合計	<u>287,863</u>	<u>345,908</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,683	105,126
短期借入金	40,841	45,602
1年内返済予定の長期借入金	2,896	4,229
コマーシャル・ペーパー	10,000	22,000
未払法人税等	1,471	1,523
引当金	1,785	1,121
その他	7,959	10,882
流動負債合計	153,634	190,483
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	24,805	30,457
引当金	83	856
退職給付に係る負債	4,797	5,032
その他	3,759	5,732
固定負債合計	53,444	62,078
負債合計	207,079	252,560
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	16,649	16,649
資本剰余金	14,685	15,200
利益剰余金	43,478	46,712
自己株式	△4,706	△3,624
株主資本合計	70,105	74,937
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,652	11,114
繰延ヘッジ損益	△5	△3
為替換算調整勘定	631	1,058
退職給付に係る調整累計額	△1,291	△1,197
その他の包括利益累計額合計	5,987	10,972
新株予約権	265	217
非支配株主持分	4,426	7,221
純資産合計	80,784	93,348
負債純資産合計	287,863	345,908



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	353,890	388,216
売上原価	318,275	344,854
売上総利益	35,614	43,362
販売費及び一般管理費	29,528	36,302
営業利益	6,086	7,059
営業外収益		
受取利息	50	49
受取配当金	618	607
持分法による投資利益	382	281
その他	510	382
営業外収益合計	1,560	1,319
営業外費用		
支払利息	932	1,139
その他	205	134
営業外費用合計	1,136	1,274
経常利益	6,509	7,105
特別利益		
固定資産売却益	16	833
負ののれん発生益	-	492
投資有価証券売却益	1,423	76
補助金収入	155	-
特別利益合計	1,593	1,401
特別損失		
関係会社整理損	45	433
固定資産処分損	90	202
投資有価証券売却損	104	4
投資有価証券評価損	259	-
持分変動損失	151	-
その他	48	4
特別損失合計	697	643
税金等調整前四半期純利益	7,405	7,862
法人税、住民税及び事業税	1,604	2,255
法人税等調整額	508	179
法人税等合計	2,112	2,434
四半期純利益	5,293	5,428
非支配株主に帰属する四半期純利益	533	773
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,760	4,655

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	5,293	5,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	797	3,923
繰延ヘッジ損益	13	2
為替換算調整勘定	△1,511	295
退職給付に係る調整額	88	93
持分法適用会社に対する持分相当額	83	589
その他の包括利益合計	△530	4,901
四半期包括利益	4,763	10,329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,384	9,640
非支配株主に係る四半期包括利益	378	689

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年1月27日付で当社と福田三商株式会社の間で締結した株式交換契約書に基づき、平成29年4月1日を株式交換の効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、福田三商株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。これにより、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が345百万円増加、自己株式が3,399百万円減少しました。

また、平成29年11月29日開催の取締役会決議に基づき、平成29年11月30日付で自己株式546,200株の取得を行いました。これにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,264百万円増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が15,200百万円、自己株式が3,624百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、福田三商株式会社を、当社による株式取得のため、連結の範囲に含めておりません。

第2四半期連結会計期間より、Ball & Doggett Group Pty Ltd及びその子会社9社（以下「Ball& Doggettグループ」といいます。）を、当社による株式取得のため、連結の範囲に含めております。このうちBall & Doggett Group Pty Ltd及びPagePack (NZ) Limitedは、当社の特定子会社に該当いたします。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	海外卸売 (百万円)	製紙及び 加工 (百万円)	資源及び 環境 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)			
売上高								
外部顧客への売上高	218,387	97,809	16,116	19,445	2,134	353,890	—	353,890
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,188	292	18,177	4,994	82	30,733	△30,733	—
計	225,576	98,100	34,293	24,438	2,216	384,623	△30,733	353,890
セグメント利益 又は損失(△)	3,833	870	2,243	491	396	7,833	△1,324	6,509

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益△498百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	海外卸売 (百万円)	製紙及び 加工 (百万円)	資源及び 環境 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)			
売上高								
外部顧客への売上高	220,300	116,820	17,633	31,345	2,118	388,216	—	388,216
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,710	200	18,975	6,208	86	32,179	△32,179	—
計	227,009	117,020	36,607	37,553	2,204	420,395	△32,179	388,216
セグメント利益 又は損失(△)	3,949	883	2,111	1,780	463	9,187	△2,082	7,105

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益△919百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において福田三商株式会社を連結子会社としたことに伴い、前連結会計年度の末日に比べ、「資源及び環境」のセグメント資産が13,154百万円増加しております。

第2四半期連結会計期間においてBall &amp; Doggettグループを連結子会社としたことに伴い、前連結会計年度の末日に比べ、「海外卸売」のセグメント資産が25,945百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間においてBall & Doggett グループを連結子会社としたことに伴い、「海外卸売」セグメントにおいて、のれん3,910百万円を計上しております。なお、当第3四半期連結会計期間末においては、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間において福田三商株式会社を連結子会社としたことに伴い、「資源及び環境」セグメントにおいて、負ののれん発生益492百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。

(訂正前)



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本紙パルプ商事株式会社  
 コード番号 8032 URL <https://www.kamipa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 昭彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 武井 康志 (TEL) 03(3534)8522  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	388,216	9.7	7,111	19.5	7,156	12.2	4,706	1.7
29年3月期第3四半期	353,890	△7.4	5,952	25.4	6,375	32.4	4,626	89.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 10,380百万円(124.2%) 29年3月期第3四半期 4,629百万円(149.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	322.87	321.05
29年3月期第3四半期	338.76	336.54

※平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	346,316	93,756	24.9
29年3月期	288,219	81,141	26.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 86,317百万円 29年3月期 76,449百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
30年3月期	—	5.00	—		
30年3月期(予想)				50.00	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は5円00銭となり、1株当たり年間配当金は10円00銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	530,000	8.0	9,500	17.1	9,000	12.2	5,200	0.2	355.68

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社(社名) Ball & Doggett Group Pty Ltd、  
PagePack (NZ) Limited、除外 1社(社名)

※詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	15,021,551株	29年3月期	15,021,551株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	928,772株	29年3月期	1,410,620株
----------	----------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	14,576,484株	29年3月期3Q	13,656,173株
----------	-------------	----------	-------------

※平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成29年6月28日開催の第155回定時株主総会において、単元株式数の変更、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、単元株式数を1,000株から100株に変更し、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金

第2四半期末 5円00銭(注1)

期末 5円00銭(注2)

2. 平成30年3月期の通期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 35円57銭

(注1) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払いを行っております。

(注2) 株式併合考慮前に換算した配当額であります。

(注3) 平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は10円00銭となります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(セグメント情報等) .....	9



## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用環境の改善によって個人消費が緩やかに増加、また輸出の改善や設備投資の増加などにより、全体として回復基調が継続しています。世界経済におきましては、雇用の改善による個人消費に支えられている米国や、輸出がけん引する欧州での経済が堅調に推移するとともに、中国では個人消費の寄与による経済成長が継続、また、アジア諸国においても先進国向けの輸出が好調なことから、全体的に安定した経済成長が続いています。

紙パルプ業界におきましては、紙は電子媒体へのシフトなどの要因から需要の減少が続いたものの、板紙は、加工食品・飲料用など生活必需品や、伸長著しいネット通販向けの梱包用段ボール原紙の出荷が堅調であり、当第3四半期連結累計期間における紙・板紙の内需はほぼ前年並みとなりました。

このような状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高388,216百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益7,111百万円（同19.5%増）、経常利益7,156百万円（同12.2%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、当期においては固定資産売却益の増加、負ののれん発生益の計上等があったものの、投資有価証券売却益が減少したことにより、前年同期比1.7%増の4,706百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績をセグメント別にみると次のとおりです。

#### 「国内卸売」

紙・板紙の出荷数量はわずかに減少したものの、売上高は価格修正もあり前年同期比0.9%増の220,300百万円となりました。経常利益は、機能材の販売が好調であったことなどから、3.0%増の3,949百万円となりました。

#### 「海外卸売」

第2四半期連結会計期間に連結子会社化したBall & Doggett Group Pty Ltdの業績が当第3四半期連結会計期間より反映されていること、及び本邦からの輸出の増加や円安による為替換算の影響等により、売上高は前年同期比19.4%増の116,820百万円となりました。一方、経常利益はBall & Doggett Group Pty Ltdの株式取得関連費用を計上したことなどから1.5%増の883百万円となりました。

#### 「製紙及び加工」

売上高は再生家庭紙事業及び海外段ボール加工事業の販売数量増加等により、前年同期比9.4%増の17,633百万円となりました。一方、経常利益は板紙製造事業における原料古紙価格の上昇等により5.9%減の2,111百万円となりました。

#### 「資源及び環境」

古紙価格の上昇等により、第1四半期連結会計期間に連結子会社化した福田三商株式会社をはじめとした古紙事業の業績が好調に推移しました。また、平成28年7月から営業運転を開始した岩手県におけるバイオマス発電事業の業績が期初より反映されていることにより、売上高は前年同期比61.2%増の31,345百万円、経常利益は262.6%増の1,780百万円となりました。

#### 「不動産賃貸」

テナントビルの高稼働が継続していますが、一部賃貸物件の売却もあり売上高は前年同期比0.7%減の2,118百万円となりました。一方、経常利益は減価償却費の減少及び管理費用の削減により16.9%増の463百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、福田三商株式会社及びBall & Doggett Group Pty Ltdを連結子会社化したことに伴う売上債権、棚卸資産及び有形固定資産の増加等により前連結会計年度末に比べて58,096百万円増加し、346,316百万円となりました。

総負債も同様の理由により前連結会計年度末に比べて45,482百万円増加し、252,560百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び有価証券評価差額金の計上等により前連結会計年度末に比べて12,615百万円増加し、93,756百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日に公表いたしました連結業績予想数値の修正はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,157	8,569
受取手形及び売掛金	122,764	146,796
たな卸資産	26,080	34,585
その他	6,103	6,724
貸倒引当金	<u>△1,437</u>	<u>△1,840</u>
流動資産合計	<u>159,666</u>	<u>194,834</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,238	33,911
土地	25,984	32,080
その他(純額)	29,116	33,993
有形固定資産合計	88,339	99,984
無形固定資産		
のれん	284	4,077
その他	1,889	1,918
無形固定資産合計	2,173	5,995
投資その他の資産		
投資有価証券	32,568	39,341
その他	8,332	9,060
貸倒引当金	△2,928	△2,958
投資その他の資産合計	<u>37,971</u>	<u>45,443</u>
固定資産合計	<u>128,482</u>	<u>151,422</u>
繰延資産	71	60
資産合計	<u>288,219</u>	<u>346,316</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,683	105,126
短期借入金	40,841	45,602
1年内返済予定の長期借入金	2,896	4,229
コマーシャル・ペーパー	10,000	22,000
未払法人税等	1,471	1,523
引当金	1,785	1,121
その他	7,959	10,882
流動負債合計	153,634	190,483
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	24,805	30,457
引当金	83	856
退職給付に係る負債	4,797	5,032
その他	3,759	5,732
固定負債合計	53,444	62,078
負債合計	207,079	252,560
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	16,649	16,649
資本剰余金	14,685	15,200
利益剰余金	43,835	47,119
自己株式	△4,706	△3,624
株主資本合計	70,462	75,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,652	11,114
繰延ヘッジ損益	△5	△3
為替換算調整勘定	631	1,058
退職給付に係る調整累計額	△1,291	△1,197
その他の包括利益累計額合計	5,987	10,972
新株予約権	265	217
非支配株主持分	4,426	7,221
純資産合計	81,141	93,756
負債純資産合計	288,219	346,316

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	353,890	388,216
売上原価	318,275	344,854
売上総利益	35,614	43,362
販売費及び一般管理費	29,662	36,251
営業利益	5,952	7,111
営業外収益		
受取利息	50	49
受取配当金	618	607
持分法による投資利益	382	281
その他	510	382
営業外収益合計	1,560	1,319
営業外費用		
支払利息	932	1,139
その他	205	134
営業外費用合計	1,136	1,274
経常利益	6,375	7,156
特別利益		
固定資産売却益	16	833
負ののれん発生益	-	492
投資有価証券売却益	1,423	76
補助金収入	155	-
特別利益合計	1,593	1,401
特別損失		
関係会社整理損	45	433
固定資産処分損	90	202
投資有価証券売却損	104	4
投資有価証券評価損	259	-
持分変動損失	151	-
その他	48	4
特別損失合計	697	643
税金等調整前四半期純利益	7,271	7,913
法人税、住民税及び事業税	1,604	2,255
法人税等調整額	508	179
法人税等合計	2,112	2,434
四半期純利益	5,159	5,479
非支配株主に帰属する四半期純利益	533	773
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,626	4,706

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	5,159	5,479
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	797	3,923
繰延ヘッジ損益	13	2
為替換算調整勘定	△1,511	295
退職給付に係る調整額	88	93
持分法適用会社に対する持分相当額	83	589
その他の包括利益合計	△530	4,901
四半期包括利益	4,629	10,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,251	9,691
非支配株主に係る四半期包括利益	378	689

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年1月27日付で当社と福田三商株式会社の間で締結した株式交換契約書に基づき、平成29年4月1日を株式交換の効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、福田三商株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。これにより、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が345百万円増加、自己株式が3,399百万円減少しました。

また、平成29年11月29日開催の取締役会決議に基づき、平成29年11月30日付で自己株式546,200株の取得を行いました。これにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,264百万円増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が15,200百万円、自己株式が3,624百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、福田三商株式会社を、当社による株式取得のため、連結の範囲に含めておりません。

第2四半期連結会計期間より、Ball & Doggett Group Pty Ltd及びその子会社9社（以下「Ball & Doggettグループ」といいます。）を、当社による株式取得のため、連結の範囲に含めております。このうちBall & Doggett Group Pty Ltd及びPagePack (NZ) Limitedは、当社の特定子会社に該当いたします。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	海外卸売 (百万円)	製紙及び 加工 (百万円)	資源及び 環境 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)			
売上高								
外部顧客への売上高	218,387	97,809	16,116	19,445	2,134	353,890	—	353,890
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,188	292	18,177	4,994	82	30,733	△30,733	—
計	225,576	98,100	34,293	24,438	2,216	384,623	△30,733	353,890
セグメント利益 又は損失(△)	3,833	870	2,243	491	396	7,833	△1,458	6,375

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益△632百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	海外卸売 (百万円)	製紙及び 加工 (百万円)	資源及び 環境 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)			
売上高								
外部顧客への売上高	220,300	116,820	17,633	31,345	2,118	388,216	—	388,216
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,710	200	18,975	6,208	86	32,179	△32,179	—
計	227,009	117,020	36,607	37,553	2,204	420,395	△32,179	388,216
セグメント利益 又は損失(△)	3,949	883	2,111	1,780	463	9,187	△2,031	7,156

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益△868百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において福田三商株式会社を連結子会社としたことに伴い、前連結会計年度の末日に比べ、「資源及び環境」のセグメント資産が13,154百万円増加しております。

第2四半期連結会計期間においてBall &amp; Doggettグループを連結子会社としたことに伴い、前連結会計年度の末日に比べ、「海外卸売」のセグメント資産が25,945百万円増加しております。



3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間においてBall & Doggett グループを連結子会社としたことに伴い、「海外卸売」セグメントにおいて、のれん3,910百万円を計上しております。なお、当第3四半期連結会計期間末においては、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間において福田三商株式会社を連結子会社としたことに伴い、「資源及び環境」セグメントにおいて、負ののれん発生益492百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。